



地域運営学校 八王子市立由井中学校

由井の風

自立 貢献
そして 挑戦

令和8年8月26日
八王子市立由井中学校
<https://hachioji-school.ed.jp/yuiji>
No.12



校長より

廊下を巡回中、子供たちの真剣な表情や久しぶりの友達や先生と顔を合わせて、笑顔が溢れる様子も随所に見られ、嬉しく思います。

長い2学期がスタートしますが、「由井中を最高の場所に」するために一人一人が「自分ができることは何か」を考え、行動していきましょう。

自分ができることは何か、考え、実行する2学期へ

- 自立
一人一人が自分の役割と行動に責任をもつこと
- 貢献
周囲を思いやり、集団や仲間のために全力を尽くすこと
- 挑戦
失敗を恐れず、より高い目標に向かって一歩踏み出すこと



始業式

体育館工事のため、[オンライン配信で行った始業式](#)。校歌の指揮と伴奏は音楽室で行い、その様子を全教室に配信し、生徒は各教室で校歌を歌いました。

普段と違う環境で、多少戸惑いもあったかと思いますが、そのことを感じさせない歌声でした。

その後、私と生活指導主任より、2学期に向けての話をしました。そのときに使用したパワーポイントのスライドを生徒用端末に添付しました。もし、よろしければそちらも御覧ください。

- ・夏休みの輝かしい「挑戦」と成果
- ・合唱コンクールという最高の「自立」「貢献」「挑戦」

○すべての基盤となる「命」と「安全」

川での水難事故防止、防災意識の啓発、熱中症予防

すべての基盤となる「命」と「安全」

- 川での水難事故防止
「少しだけなら」「自分は大丈夫」という一瞬の油断をなくす。危険な場所には絶対に近づかない「自立」の選択を
- 防災意識の啓発
8月の震度5弱の地震を忘れない。「時と場所を選ばない災害」に対し、自分の命を守る具体的な避難行動をイメージする。
- 熱中症への徹底対策
厳しい残暑が続く9月。「これくらい大丈夫」と過信せず、こまめな水分補給や適切な体調管理を行う。



扇風機増設（3年）、エアコン修理（1年）

夏季休業中に、3年各教室の扇風機を1台ずつ増設しました。

また、校庭に面した3年教室の足元にある小窓にカーテンを取り付けました。

これで、少しは暑さが和らぎ3年生が落ち着いて学習に取り組めると嬉しいです。

また、1年生は普通教室のエアコンが故障したため第3校舎の特別棟で授業を行っています。当初、夏季休業中に工事が終わる予定でしたが、9月の第二週目あたりまでかかりそうです。引き続き、市と残暑への対応（熱中症予防）を含めて、連携してまいります。



おしらせ

学校公開…9月7日(月)から11日(金)
生徒会選挙…9月18日(金)

1 学校公開について

9月7日(月)から11日(金)まで、授業を公開します。お忙しいとは思いますが、ぜひ短時間でも結構ですので来校いただけると幸いです。子供たちにとっても、教職員にとっても励みとなります。

なお、3年生は9日(水)に赤ちゃんふれあい体験授業を2時間目と3時間目に行います。御承知おきください。



2 不登校をテーマとした保護者サロン(第3回)

教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。どうぞ、お気軽に御参加ください。

1. 対象 市内在住で小・中学生の保護者
2. 日時 令和8年10月9日(金)
午後5時45分から午後8時
3. 会場 八王子市立第五中学校
4. 内容 講演「不登校に関する基礎知識と義務教育終了後に活用できる高校進学以外の資源」ほか
5. 定員 30名(先着順)こちらからお申し込みください↓

令和8年9月7日から受付開始

<https://logoform.jp/form/iapr/1709037>

6. 問合せ 高尾山学園内 教育指導課登校支援担当 電話:663-3216



文部科学省

保護者や学校関係者等のみなさまへ

今、子供たちの自殺は、極めて深刻な状況にあります。そして、特に長期休業明けの前後には、子供の自殺者数が増加する傾向にあります。

子供たちの自殺を未然に防ぐには、保護者や学校関係者をはじめ、子供たちと身近に接しているみなさまに、子供たちの態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただくことが、大変重要だと考えております。

- ・これまで関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・物事に集中できなくなる
- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える
- ・友人との交際をやめて、引きこもりがちになる

といったようなサインが見られたら、いつも以上に子供に寄り添い、注意深く見守って、子供の思いを受け止めていただきたく存じます。

一人一人の働きかけが、悩みや不安を和らげるとともに、日頃の温かいコミュニケーションによって、何か困ったときに相談できる子供たちとの信頼関係づくりにつながります。各種相談窓口もありますので、ご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

そして、学校関係者のみなさまにおかれましては、不安や悩みを抱える子供たちが孤立することのないよう、学校、家庭、地域、福祉部局、警察、医療機関などの関係機関で緊密に連携し、地域全体で支援していただきますようお願いいたします。

文部科学大臣としても、子供たちが安心して学ぶことができるよう、皆様と共に、取り組んでまいります。

電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



https://www.mext.go.jp/a_nem/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和8年8月

文部科学大臣 松本 洋平